

かわきた



～新入生と集団登校～

川北町議会事務局

検索



- 3月議会定例会……………P2
- 委員会審議Q&A……………P6
- 町政を問う……………P8

3月議会定例会 3月3日～3月16日

令和2年第1回(3月)議会定例会は、3月3日に開会し、令和2年度一般会計予算・特別会計予算の8件をはじめとして、条例の改正が9件、令和元年度一般会計補正予算・特別会計補正予算が7件、その他の案件3件の計27件が上程されました。

議案は、各所管の委員会で審査され、全て原案どおり、全員賛成で可決しました。

尚、3月3日、16日開催の本会議への一般傍聴を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきます。

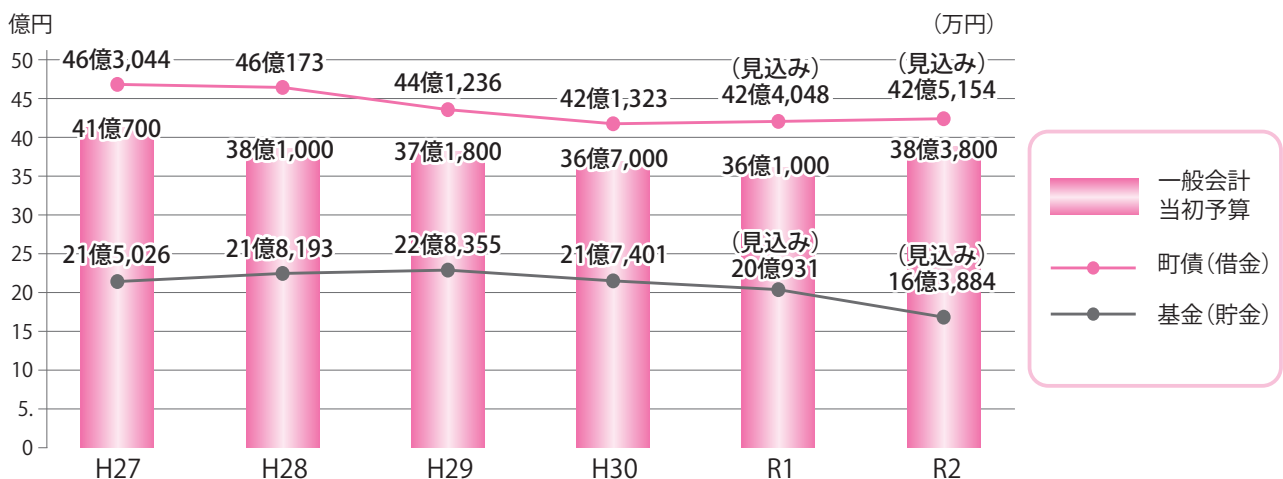
尚、一般質問の様子は、川北町ホームページ(川北町議会→議会議中継)で閲覧いただけます。

令和2年度 当初予算

単位：万円

| 会 計 名 | | 予 算 額 | 前年度比較 |
|------------------|------------|------------|---------|
| 一 般 会 計 | | 38 億 3,800 | 6.3% |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険 | 5 億 3,600 | △ 0.7% |
| | 簡易水道事業 | 5,050 | 50.7% |
| | 農業集落排水事業 | 1 億 3,100 | △ 34.5% |
| | 介護保険事業 | 4 億 7,500 | △ 0.2% |
| | 介護保険サービス事業 | 5,680 | △ 0.5% |
| | 後期高齢者医療 | 6,700 | 4.7% |
| 小 計 | | 13 億 1,630 | △ 4.0% |
| 企 業 会 計 | 工業用水道事業 収益 | 4,250 | 1.2% |
| | 工業用水道事業 資本 | 0 | 皆減 |
| 小 計 | | 4,250 | △ 13.3% |
| 合 計 | | 51 億 9,680 | 3.3% |

一般会計当初予算・町債・基金の推移



一般会計の財源(歳入)

| | |
|-------------|----------------------|
| 町 税 | 13億8,500 13億9,000 |
| 地 方 交 付 税 | 6億8,000 6億0,000 |
| 町 債 (借 入 金) | 4億6,660 3億 640 |
| 繰入金・繰越金など | 4億1,028 4億3,467 |
| 国 庫 支 出 金 | 3億4,340 2億6,114 |
| そ の 他 交 付 金 | 1億7,320 2億1,138 |
| 県 支 出 金 | 1億4,944 1億6,601 |
| 使用料及び手数料 | 1億4,114 1億3,285 |
| 分担金及び負担金 | 3,484 5,389 |
| 諸 収 入 | 3,216 3,316 |
| 地 方 譲 与 税 | 2,194 2,050 |

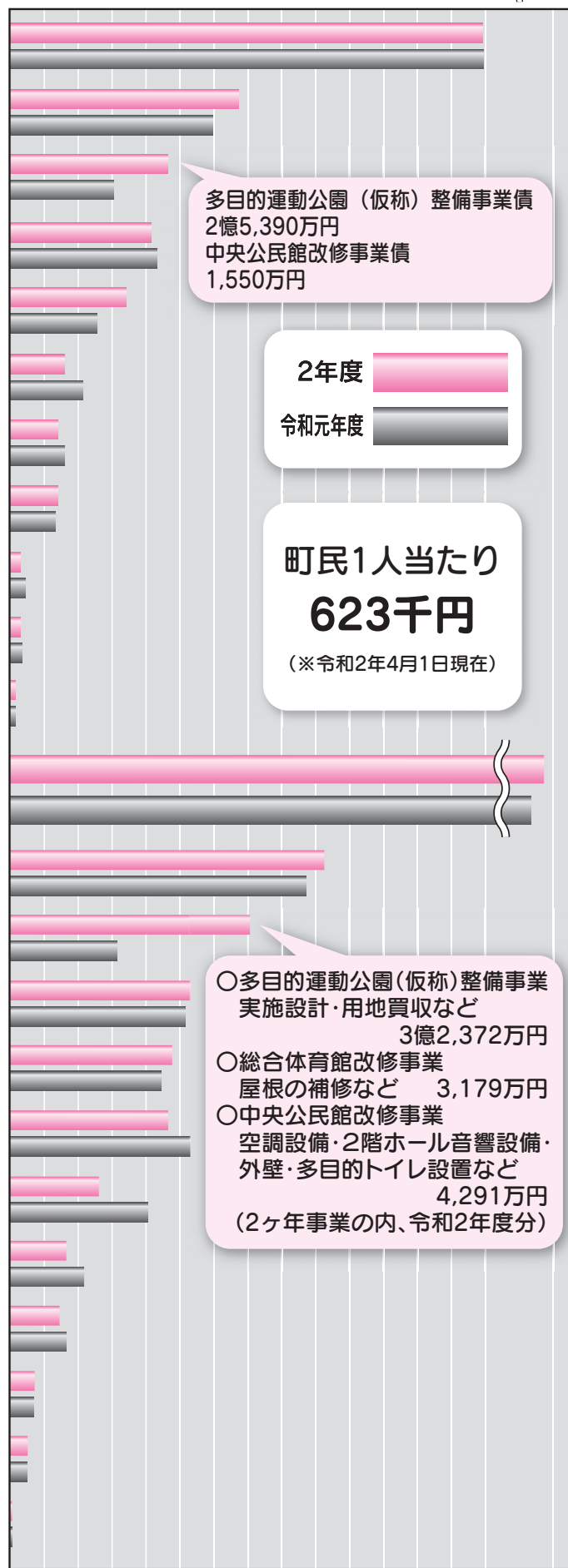
予 算 総 額

38億3,800
36億1,000

一般会計の使いみち(歳出)

| | |
|-------------|--------------------|
| 民 生 費 | 9億2,015 8億7,584 |
| 教 育 費 | 7億 887 3億1,192 |
| 総 務 費 | 5億3,855 5億1,689 |
| 公債費(借入金の返済) | 4億8,400 4億4,500 |
| 衛 生 費 | 4億7,469 5億3,736 |
| 土 木 費 | 2億6,244 4億 969 |
| 農林水産業費 | 1億6,831 2億1,916 |
| 消 防 費 | 1億4,917 1億6,566 |
| 議 会 費 | 7,011 7,075 |
| 商 工 費 | 5,671 5,273 |
| 予 備 費 | 500 500 |

0 2 4 6 8 10 12 14 ≪ 40(億円)



0 2 4 6 8 10 12 14 ≪ 40(億円)

NEXT

一般会計当初予算 おもな施策など

一般会計当初予算おもなもの

NEW! キャリアパスポートの導入

新学習指導要領に基づいて、児童・生徒の小学校から高等学校までの諸活動を記録し、今後の生き方や進路指導などに活用

NEW! 児童館フェスタ(仮称)の開催

3つの児童館が一堂に会して、子ども達が主体となった催しを開催し、地域の人達との交流の促進と活性化を図る

NEW! 高齢者安全運転装置設置促進事業補助金

65歳以上の高齢者を対象とした、後付けによる安全運転装置や、安全運転支援機能を有するドライブレコーダーの設置に対する補助

○市場価値の高い農作物の生産などを支援

環境保全型農業への交付金や、地域農業の担い手となる経営体の育成など

NEW! 住宅用リチウムイオン蓄電池

太陽光発電システムのほか、新たに蓄電池も対象とした補助内容の拡充



○短期人間ドック助成事業・妊婦、乳幼児、特定年齢などの各種健診や予防接種事業、歯周疾患検診に係る助成

健康で豊かな生活を過ごすためには、生活習慣病などの予防や病気の早期発見に繋がる健康診断などが大切なことから、継続して予算化

NEW! 地籍調査に関連する諸事業

藤蔵地区から開始



NEW!

共同墓地整備事業費補助金

各地区が管理をしている墓地の

NEW! 区画などを整備する際の補助 町制施行40周年記念事業や式典など

NEW!

多目的運動公園(仮称)の実施設計と用地購入など



特別会計当初予算おもなもの

○簡易水道事業等

木呂場地区の簡易水道施設の改修に係る調査測量費用など

○農業集落排水事業

上先出地区処理施設の機能強化事業に係る調査測量費用など

令和元年度一般会計 補正予算おもなもの

補正額 8千550万円
予算累計 38億5千400万円

○衛生費

不妊症治療及び不育症治療費
給与金を追加

○農林水産業費

J A能美が担い手農家の所得向上対策として行っている玉ねぎ栽培の面積拡大に伴う、施設整備費用の助成金や先進的な農業経営に取り組む農業法人に対する補助金など

○土木費

通学路等の安全対策と県道の加賀海浜産業道路整備に伴う負担金など

○教育費

国のGIGAスクール構想により、各小・中学校に高速大容量の通信ネットワークを整備

令和元年度特別会計 補正予算おもなもの

補正額 2千784万円
予算累計 14億1千648万円

○介護保険事業

サービス給付費の不足に伴う追加補正

○後期高齢者医療

広域連合への負担金600万円を追加補正



○川北町農業振興協議会との意見交換会

議会運営委員会・議会改革推進委員会

日時 2月13日(木)

19時30分～

場所 文化センター

農業振興協議会の方々から活発な意見が数多く出され、有意義な意見交換会になりました。

○主な内容

- ・町の政策として、今後の農家をどう見ているのか。
- ・町として、しっかりとした特産品（ブランド化）に力を注いでほしい。
- ・町では、工場の環境管理が出来ているのか。
- ・小規模農家でも補助金の対象になるような、町独自の補助金の制度を考えてほしい。



- ・ふるさと納税の返礼品として、町、農家、販売のプロなどの連携が大事なのではないか。

NEXT

委員会審議 Q & A

委員会審議

主なもの

総務産業常任委員会

Q 産地パワーアップ事業費補助金（133万円）について、補助申請されている機具は。

A たまねぎ乾燥・調整機械です。

Q 未就学児安全対策（210万円）について、その対策箇所は。

A 水路の防護柵や道路のカラー舗装などです。

Q 区道から町道への変更の判断基準は。

A 基本的には、幅員6m以上なければ町道にはなりません。

予算決算特別委員会

Q 地籍調査委業務について、補助割合は、国・県で75%とのことだが、残りの25%は、町が負担するのか。

A 町が負担しますが、20%は国

Q & A

からの交付税で賄われることから、町の負担は、事業費の実質5%です。

Q 消雪施設整備事業は消雪施設のみなのか。

A 消雪施設と管路の整備も併せて行います。

Q 消雪の出が悪く、管路が詰まっているようなのだが、管路についても調査を。

A 管路の洗浄は部分的に行ない、場合によっては、更新しなければならぬと思っています。

Q 町道整備工事（町道中島橋新線路肩整備（草深））については。

A 具体的には、道路幅員の中の整備となります。

両サイドの水路を蓋がけ可能な水路に改修することで、路肩部分が広がるものです。

教育民生常任委員会

Q 不妊症及び不育症治療費給付金（補正250万円）について、件数（申請者）は増えているのか。

A 今年度は、申請をされた方が多かった為補正のお願いを致します。

Q 国保事業費納付金の算定で激変緩和措置が廃止になるまで国民健康保険税の対応は。

A 県が提示する川北町の標準保険料率に近づけていくような形で進めていく予定です。

Q これから子供が減っていく状況の中で、放課後児童クラブの今後の在り方については。

A 現在は、低学年を中心に利用されていますが利用率も上がってきており、高いニーズは続くのではないかと思います。

Q 小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備業務委託料（4千488万円）については。

A 高速大容量の通信ネットワークの整備です。

予算決算特別委員会

Q 子ども食堂を運営されている方の考えとかコンセプトは。

A 次年度は、今年度以上に開催を計画しており、内容についても、参加者へのアンケートにより検討されています。





【Q】共同墓地整備事業費補助金について、用地代（土地購入費）への補助は。

【A】工事費のみが対象となります。

【Q】川北町中央公民館改修工事のうち（4千176万円）、2階ホールの改修は。

【A】音響設備の改修です。

【Q】マイナンバーカードの交付率が13%ほどの取得率であるのに、将来的に健康保険証の機能がつくのか。

【A】令和3年3月からマイナンバーカードが、健康保険証としても使用することができるよう予定です。

【Q】多目的運動公園の使用目的や使用条件はどのようになっているか。

【A】多目的運動公園も含めて、単年度で整備するものではなく、複数年で管理も含めて整備していきます。

【Q】運動公園の専門家とか有識者からの意見を聞いてはどうか。

【A】多目的運動公園検討委員会を開催し、その中で検討する予定です。



共生型福祉施設

『G-Hills』視察

1月29日（水）教育民生常任委員会では、福祉施設の研修会として、能美市緑が丘の『G-Hills』を視察しました。

この施設は、

「子ども・障害者・高齢者が共に生きる共生型福祉施設」として、各機能別の施設を集約し、幅広い年代の人を受け入れています。

具体的には、芋ほり体験、子ども食堂の開催など、子どもも高齢者も障がいのある人も、世代を超えて、生き生きとふれあえる環境づくりに、積極的に取り組んでいます。



NEXT

町政を問う（いっぱん質問）

地域交通事業への助成は

福祉課長 各費用の一部助成を検討

町政を問う！



坂井 毅 議員

- Q** 公共交通の整備については、未だ方向性は示されていない。免許返納者や高齢者が、買い物や病院へ行くのに苦労されていることから、地区でも対応を進めているところだ。
- ① 買い物や病院への送迎を行うボランティア送迎者の私有車へのボランティア保険が可能なか。
- ② 町が傷害保険を掛るのか。
- ③ 地域交通事業に、町が助成する用意があるのか。
- ④ 町内他地区、他市町の取り組みを把握されているのか。町当局の考えを問う。

3月議会定例会 一般質問



A 福祉課長

ボランティア保険については、送迎者及び利用者の「福祉サービス総合補償」(送迎サービス保証・傷害保険)をお勧めしている。

現在、町内3地区より、話しを伺っており、近隣市町の取り組みなども参考にしながら相談を受けたいと思っている。

地域ボランティア活動については、あくまでも地域の方が地域のために自主的に行うものであると認識しており、地域ボランティア組織の設立にかかる費用とボランティア保険にかかる費用の一部の助成を考えている。



避難所の非常用電源は

総務課長

調査を進めたい

Q 地域の防災・減災の為に避難所となる小・中学校などに太陽光発電システムの導入について問う。

A 総務課長

太陽光発電システムを含めた非常用電源の設置については、設備の規模や設置場所、そして国の補助制度などを含め調査を進めたい。

粗大ごみ搬出サービスの今後は

福祉課長

今後も要望に応えたい

Q 粗大ごみ搬出サービスについて、役場職員を使ってまで粗大ごみ搬出をしなければならぬのか、疑問を感じます。

① なぜ、突然、発表したのか。

- ② 昨年以降、何件発生したか。
- ③ 委託業者に任せないのか。
- ④ 今後も役場職員を動員して、サービスを続けて行くのか。
- 町当局の考えを問う。

A 福祉課長

ひとり暮らし高齢者宅3件について、粗大ごみ搬出を行いました。

新しい施策としてのサービス事業ではなく、通常の軽易な福祉業務の一環です。

ひとり暮らし高齢者の要望(困りごと)に応えた福祉の作業として、今後も要望に応えたい。

再Q 搬出対象運用マニュアルの作成について、町当局の考えを問う。

A 福祉課長

今後、検討していきたい。

役場職員の働き方改革は

副町長 働きやすい職場環境づくりに取り組む



宮崎 稔 議員

A 副町長

働き方改革には、意識改革、業務の効率化、業務の見直しの三要素が重要である。

Q 役場職員の長時間労働は正に向け、ノー残業デーの導入など、単なる残業削減ではない働き方改革の取り組みは。

改正労働安全衛生法では、労働者の始業・終業時刻をタイムカードやパソコンの使用での客観的な記録をもとに確認し、記録することが義務化された。

川北町役場での勤務時間の把握は、紙による自己申告制だが、法改正に見合った適正な自己申告と勤務時間の把握は行われているのか。

面談を通して、職員の健康状態や勤務状況等を把握し、不満や悩みの解消に際するとともに、適材適所での人事異動等を進めていく。

IT化による業務の効率化が図られているが、それを上回る勢いで事務量の増加や複雑化が進んでいることから、一般事務職と保育士の定数を各1名増員した。

働き方改革は、働く側の意識が変わらなければ根本からの解決には至らない。

これからも働きやすい職場環境づくりに取り組んでいく。

再Q 勤務時間の適正な状況把握についての答弁がない。再度問う。

A 副町長

町民サービスが主である役場においては、昼休み時間中や退勤時間を若干超える対応も行っている。

柔軟性を持たせたサービス対

応に配慮し、パソコンの仕様時間やタイムカードを用いた出勤時刻の記録は考えていない。

紙ベースの時間外勤務報告書や出勤時に出勤簿にハンコを押すことで、勤務状況の管理をこのまま続けていきたい。

耐震改修促進計画の進捗状況は

土木課長

耐震改修を推進する

Q 町は耐震改修促進計画を策定し耐震化率の向上に努めてきたが、昭和56年以前の住宅を対象とする耐震改修補助金の活用は10年間で2戸のみであった。住宅の耐震化目標は達成されたのか。

耐震改修には高額な個人負担が発生する場合もあり、個人の自助努力に任せるだけでなく、行政と地域住民が個人によりそって解決策を考える体制づくりや柔軟な補助金制度の検討が必要ではないか。

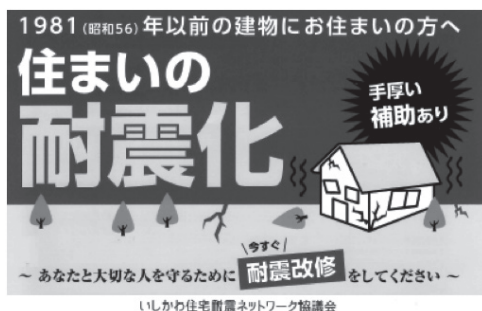
A 土木課長

耐震改修促進計画は、平成19年度に策定した。

計画当初の耐震化対象住宅は、594戸、耐震化率は57%で、平成27年度末の目標を90%とした。

公共施設では、平成27年度に、耐震化率100%を達成しましたが、住宅では、この10年間の実績は2戸のみ。

令和2年度に新たな耐震改修促進計画を策定し、住宅リフォーム助成をひとつの契機として耐震改修を推進します。



町長等の報酬額の見直しは

総務課長 必要であれば、審議会を開催



山村秀俊 議員

Q 毎年、6月と12月に県知事と各市長・町長のボーナス支給額が、新聞報道により公表されている。

その公表の都度、町民より、人口規模からして町長等の報酬が高いのではとの声が寄せられる。

昨年、12月の新聞報道で羽咋市長の給料が、11の市の中で最低から増額、珠洲市と同レベルにと掲載されたが、羽咋市長の給料が、今年の4月から増額しても川北町よりも低く、今後、川北町が他の市長・町長の報酬引き上げへの、格好の比較対象になりはしないかと懸念される。

町長等の報酬額の見直しについて、町当局の考えは。

A 総務課長

町長等の報酬の額に関しましては、報酬等審議会という第三者機関での意見を頂きながら、慎重に検討すべきものです。

今後、議会議員すべての方の考えも参考に必要であれば、審議会を開催したい。

取水協力金の支払いは

住民課長

考えていない

Q 地下水の取水に関して、小松市水道施設等設置協力費として、3つの地区に対し、それぞれ100万円ずつが、毎年支払われ、また、工業用水道協力金として、1つの地区に50万円が支払われている。

川北温泉などへの送水に対する、当該地区への取水協力金の支払いについて、町当局の考えは。

A 住民課長

小松市水道施設や工業用水道施設における協力金については、地下水位の低下など、地元住民に影響を与える恐れがあることから、協力金を支出している。

これに対して1号、2号の両源泉は、地下水や地区の水道施設への影響は、ほとんどない。お尋ねの取水協力金の支払いについては、考えていません。



各種財務書類の公表予定は

総務課長

平成29年度分までの財務書類などは完成

Q 公会計制度により作成される各種財務書類の公表予定は。

A 総務課長

現在の状況は、平成28年度及び29年度分の財務書類などは、連結部分も含め完成しており、平成30年度分については、作成中です。

すでに完成している財務書類などについては、速やかに町ホームページに掲載し公表したい。



教育委員の補充は

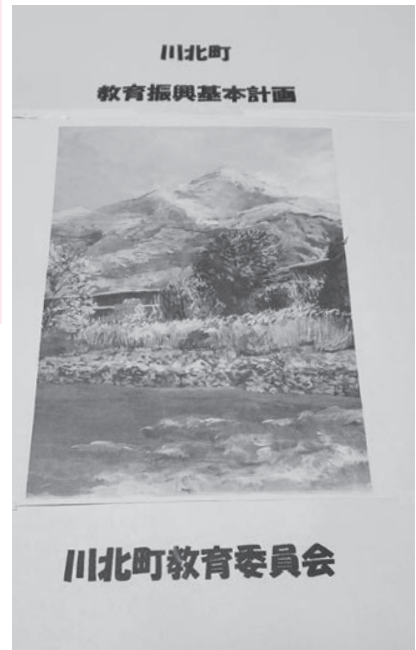
町 長 できるだけ早く選任したい



山田勝裕 議員

Q 地方行政委員会の1つとして教育委員会が設置され、4名の教育委員が任命されることが原則となっているが、昨年1月に1名の教育委員が辞任している。

教育委員会は、教育行政の重要事項や基本方針について決定する重要な機関であり、教育行政の適切な運営に向けて教育長を含めた5人体制が必要ではないか。



A 町長

教育委員の皆さんは、毎月の定例会議の他、学校訪問や入学式卒業式への出席などを含め、様々な任務があるが、現在は特に大きな支障をきたしていない。しかし、その分、他の委員の負担が増えている事も否めない事実である。

定数を満たした委員の皆さんが、多様な観点から教育行政を考え、学校教育や生涯学習、住民の健康づくり、スポーツの振興を支えて行くことなどを考慮すれば、できるだけ早く、もう1名の委員の方を選任したい。

奨学金給付制度の創設をUターン活用

教育長

県や他市町の動向を参考に検討したい

Q 現在の高校生の大学進学率は年々高まっており、石川県 of 大学進学率は55・1%となっている。

一方で、県外大学進学者が多く、Uターンの促進も課題となっている。

本町の人口も6千200〜6千300人で推移しており、人口を増やす施策も必要である。

そうした状況から、本町の学校教育の振興と同時に県外の大学に進学した本町の高校生が、地元石川県の企業に就職することを1つの条件に奨学金の給付を実施することも考えられるのではないか。

A 教育長

今年、川北町で成人式を迎えた人では、大学・短大・専門学校に在籍している学生は全体の73%で、その内の55%が県内の学校に在籍し、45%が県外の学校に在籍している。

県外の大学に進学する場合は、学費や住居費に多額の費用が必要となり、多くの学生が、国や県などの奨学金や教育資金融資を受けているものと思われる。

全国の市町の状況を見ますと、学生のUターン就職を目的とした奨学金制度を設けているところは、見当たりませんし、町としても、今、現在は考えていませんが、今後、県や他市町の動向を参考に検討したい。



NEXT

町政を問う(いっぱん質問)

町内外への広報(PR)活動は

町 長 より多くの方にPR



井波秀俊 議員

Q 現在、町の情報伝達は、広報かわきた、防災行政無線、ケーブルテレビなどにより行われている。

しかしながら、各種団体との意見交換会や地域での町政報告会の際に町民の方々と話すと、町の施策がほとんど町民に伝わっていない状況である。

町内外への広報（PR）活動は、地域の活性化にも繋がりと、とても重要である。

例えば町長の定期記者会見やSNSを活用しての広報、メール配信、人が集まる場所での掲示広告など、いかに町民に伝え、町外に川北町の魅力を伝えるかを担当部署に限らず、官民連携して町全体での検討・実施が必要であると考ええる。

町内外への広報（PR）活動について、町当局の考えを問う。

A 町長

今年の1月には、町ホームページのトップ画面を従来に増して、必要な情報を素早く簡単に検索できるよう改修した。

更に、2月からは町公式のフェイスブックのページを開設し、町の行事など、情報を発信すること、より開かれた町政の運営に努めている。

その他、現在スマートフォンアプリを利用して、無料で町広報紙や情報を届けるサービスなどの手続きを行っている。

今後も、これまでのケーブルTVや防災行政無線の他、スマートフォンやパソコンなどの情報端末を活用し、町内外のより多くの方に川北町をPRしたい。

外部人材の登用は

総務課長

検討を重ねたい

Q 町議会では、地域交通の先進地や町づくり、産業、教育、福祉などの先進地へ行政視察を行い、そこでの施策や事業などを参考に各政策に反映されるよう、提言しているところだ。

県内外の多くの自治体では、大学との連携やまちづくり協力隊など、外部の人材を積極的に活用し専門的なデータ、外部の自由な発想を取り入れてスピーディかつ堅実な事業を発案・実施している。

専門家などの外部人材の意見を取り入れ、また、先頭に立つて事業化構築を図ることにより、町独自の施策、事業の実現、そして事業化へと繋がるスピードも上がるのではないかと、外部人材の登用について問う。

A 総務課長

限られた人的・財政的資源を用いて安定的な行財政運営を進めて行くためには、地方公共団体だけでは、困難な場合もあることから、企業や大学など、行政とは異なる強みを持つ団体と連携し、そのノウハウや技術を生かした柔軟な事業の実施手法である産学官連携などは、有効な手段の一つである。

今後、町としては、各種取り組みなどにおいて、新たな視点や考えを取り入れ、より、効果的な事業実施に向け、外部人材の登用について検討を重ねていきたい。



緑の健康広場の活用は

教育長 整備の可否も含め検討



西田時雄 議員

Q 役場横にある緑の健康広場は、敷地面積が約3,000平方メートルの中に芝生広場とテニスコート有し、芝生広場の方は、サッカーやゲートボール、また、子供達の遊び場として広く利用されている一方で、テニスコートは老朽化が激しく、20年以上、使用されていない。また、イベント大会などの開催時には、路上駐車が多く見受けられ、何か有効利用される対策が必要と考える。そこで、テニスコート施設を公の駐車場にしてはどうか。

A 教育長

この施設は、昭和58年3月、国・県の補助を受け、地域住民、特に青少年と老人の体力増強と維持を図ることを目的に、ゲートボール場とテニスコートが整備された。

議員の提案のように、町のイベントなどの開催時に駐車場が不足している現状を鑑み、駐車場に整備するということも考えられるが、この土地は借地でもあり、地権者の了解も必要だ。

今後は、公の駐車場として整備が可能かどうかなども含め、検討する。

町消防団員の加入促進策は

町長

応援の店の実施に向け、取り組む

Q 町消防団は、自らの地域は自らで守るという郷土愛の精神に基づき、地域の実情に精通した地元住民により構成され、地域の安全・安心を守

る非常に重要な役割を担っている。

しかし、生活環境の変化にともない、全国的に消防団員数は年々減少傾向にあり、高齢化も進んでいる。

川北町でも団員定数32名に対して、28名の団員しかおらず、その確保に苦慮しているのが現状だ。

そこで、日本消防協会が進めている消防団員及びその家族に対して、割引など一定のサービスを提供する消防団応援の店が全国各地でスタート

し、年々広がりを見せてきた。川北町でも、その制度を取入れ、消防団員の確保に繋がればと考えるが、町当局の考えは。

A 町長

全国消防団応援の店については、3月1日現在で4,270店舗が登録されており、県内では、14市町318店舗が実施している。登録店舗は、飲食店が多く

団員が団員証を見せることにより、ドリンクのサービスや割引などが受けられるもので、消防団員の来店が期待できることから、どちらにもメリットがある制度ではないかと思う。

今後は、団員確保の手段の一つとして、また、町内の飲食店などの活性化にも繋がるよう、消防団応援の店の実施に向け、取り組んでいきたい。



みんなの広場

大杉さん ご家族（草深）

大杉 勝さん・麻奈さん
実衣那さん(6歳)
芽衣沙さん(1歳)



Q 以前のお住まいは？

A 小松市→サンハイム三反田→草深です。

Q 町に住まいしての感想は？

A 地域の人々が温かく、子育てしやすい町だと思います。

Q 町への要望などは？

A 子供が思いきり遊べる遊具・施設があれば良いと思います。

取材者：宮崎 稔

谷口さん ご家族（木呂場）

谷口 寧さん・元子さん
志朗さん(11歳)



Q 以前のお住まいは？

A 金沢市→珠洲市→川北町です。

Q 町に住まいしての感想は？

A 川北の人達は皆、いい人ばかりで、ご近所の方達も優しく、来てよかったと思いました。

Q 町への要望などは？

A 充分です。

その他 我が家のアピール：相撲道に精進します。

取材者：山田勝裕

お問い合わせは、川北町議会事務局まで

☎076(277)1111

西田 時雄 記



中国武漢市で初めて発生が確認された新型コロナウイルスが、世界中で猛威を振るっています。日本国内でも多くの方が感染し、学校や各公共・文化・スポーツ施設の多くが、使用禁止・制限策が取られており、生活に大きな影響を与えています。

また今年は、オリンピック・パラリンピックが、56年ぶりに日本で開催される予定でしたが、世界の感染状況を鑑み、政府は1年程度の延期を発表しました。

1日でも早くこの状況が終息し、子供達が屋内外で思い切り活動出来る事を願っています。

編集後記

議会を傍聴しましょう◆

次回の定例会は6月です。お気軽にお越しください。